

NEWS LETTER

人生100年時代 今こそ生涯学習

No.4 令和4年8月30日(火)

新潟県立生涯学習推進センター

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ

SDGs とは



いくつかの研修で耳にした語句を紹介します。第1弾です。

右のような図を一度は目にしたことはないでしょうか。2015年9月25日

に国連総会で採択された、SDGsの17の国際目標を表したものです。

その17の目標の下に、169の達成基準と232の指標が決められています。

SDGsとは「Sustainable Development Goals(サステイナブル・デベロップメント・ゴールズ)」の略で、意味は「持続可能な開発目標」です。簡単に言

うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界

のみみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。



「SDGsの17の目標」

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレをみんなに
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう



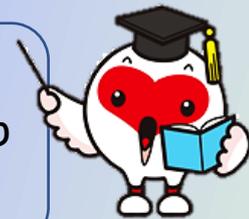
日本ではSDGs17のゴールを達成するために、外務省が発表している、「SDGsアクションプラン2020～2030年の目標達成に向けた「行動の10年」の始まり～」から簡単にご紹介すると…

「一人ひとりが尊厳ある生き方を全うできるような社会づくりや、世界の国づくり、人づくりに貢献することで、国際社会に日本がSDGsの力強い担い手であることを示し、豊かで活力のある「誰一人取り残さない」社会を実現していく」と発表されています。目標達成のためにも、「ビジネスイノベーション、地方創生、次世代・女性の活躍」の3つの柱を軸として目標がたてられています。

▶ビジネスとイノベーション ～SDGsと連動する「Society 5.0」の推進～

▶SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり

▶SDGsの担い手としての次世代・女性のエンパワーメント



14 海の豊かさを守ろう



◎SDGsの【目標14 海の豊かさを守ろう】(海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する)と聞いて、「海洋プラスチックの問題」を思いついた方は、SDGsの意識をもうすでお持ちだと思います。日本はプラスチックの生産量で世界第3位。1人当たりの容器包装プラスチックごみの発生量については、世界第2位だそうです。問題なのは、このプラスチックがゴミになった時に、その9割がリサイクルされず地球のどこかにあるということです。海には年間800万トンものプラスチックのごみが流れ込んでいます。海にはすでに1億5,000万トンものプラスチックごみがあり、2050年にはそれが海にいる魚と同じ量にまで増えるとの予測もでているのです。

日本はプラスチックの生産量で世界第 3 位。1 人当たりの容器包装プラスチックごみの発生量については、世界第 2 位と、この問題に国際的な責任を持たなければならない立場にあります。

世界では毎年 3 億トン以上のプラスチックが生産されています。

問題なのは、このプラスチックがゴミになった時に、その 9 割がリサイクルされず地球のどこかにあるということです。

海には年間 800 万トンものプラスチックのごみが流れ込んでいます。

海にはすでに 1 億 5,000 万トンものプラスチックごみがあり、2050 年にはそれが海にいる魚と同じ量にまで増えるとの予測もでているのです。海洋中のプラスチックごみの一部は、長い間海洋を漂い、波や紫外線の影響を受けるなどして小さなプラスチックの粒子となり、それが世界中の海中や海底に存在しています。5mm 以下になったプラスチックは、「マイクロプラスチック」と呼ばれています。